

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	産業振興審議会事業			会計	款	項目	大	小
				01	07	01	02	02
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市産業振興基本条例に基づく産業振興施策	意図	産業振興に関する事項について審議を行い、市長に答申又は建議を行う。
事業内容	流山市産業振興審議会を設置する。流山市産業振興基本条例に基づく施策の評価及び新たな産業振興施策の提言等を行うことにより、地域経済の活性化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	つくばエクスプレス開業に伴う都市化の進展、近隣市に対する商工業分野の製造品出荷額及び年間商品販売額の格差発生、商工会組織率の低迷、農業経営及び農地の多面的機能への支障等、本市産業を取巻く環境は大きく変わっており、こうした環境の変化に対応した新たな産業振興が求められている。つくばエクスプレス沿線整備によるさらなる都市化の進展や新川耕地の有効活用について、社会経済情勢等に対応した産業振興施策が求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施策の実現数	0	1	0	回	↑↑↑	実績
	②							
	③							
	④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成27年度は、平成25年9月20日付けで諮問のあった「農商工の連携と商店街活性化の具現化策」について、引き続き議論を行い、意見集約を行う予定であったが、平成26年度中に議論を終了し、平成27年4月10日付けで答申に至ったことから会議を開催しなかった。めまぐるしい経済環境の変化に伴い、課題が山積みしている状況の中で、常に課題を整理し、産業振興審議会が速やかに開催されるよう準備する。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		434,940	548,600	150,600				
事業費(b)(円)		295,200	410,400					
うち一般財源		295,200	410,400					
職員給与費(c)(円)		139,740	138,200	150,600				
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市長からの諮問により開催する。	③取組の課題	産業を取り巻く環境の変化が著しく、的確に効果を見出せる産業振興施策を見い出せるかが課題。
②今年度(H27)に実施した取組	諮問なし。	④今後の改善計画	新たな課題を整理し早い時期に産業振興審議会の意見を聞く必要がある。